



釜小だより

2023年 5月29日
横浜市立釜利谷小学校
6月号



学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamariya/>

釜利谷小学校自慢の「釜利谷郷土館」

副校長 荒井 宏明

今年は例年より気温の高い日が多く、校庭の紫陽花も6月を待たずに美しく色づいています。6月は雨が多い時期ですが、様々な種類の美しい花が咲く釜利谷小学校の花壇を見ていると、晴れやかな気持ちになります。

5月23日(火)に、釜小支援隊のボランティア顔合わせ会が、本校の図書館で開催されました。延べ50名以上の方が登録してくださり、今年度も教育活動の充実化を図ったり、教育環境の整備や児童の安全確保に努めたりしていただくこととなりました。コロナウイルス感染防止の規制も緩和され、ボランティア活動も広がる予定です。その中の一つに、郷土資料館ボランティアがあります。

郷土資料館ボランティア代表の平野清さんは、「今年度は、中休みを利用して釜利谷郷土館を開放したい。」と、おっしゃっていました。釜利谷郷土館は、文化庁が博物館支援デビューとして承認し、郷土資料館ボランティアの方々が、明治から平成初期までの小道具や釜利谷の歴史、文化に関わる資料を管理し、展示してある資料館です。入館してすぐ目に入ってくるのは、ふすまに囲まれた畳の上にちゃぶ台が設置された茶の間です。その他、わらぐつや黒電話など、今では見るができなくなった貴重な品々約450点が並んでいます。また、廊下には雛人形や兜などの伝統行事に関わる展示物や時節に応じた特別展示もあります。



3年生の社会科「昔のくらし」や6年生の歴史学習等で見学すれば有効な学びになるのはもちろんのこと、どの学年の児童も興味をもって見るができると思います。また、大人が見ても様々な思いが湧き出てきて、楽しく見学できる釜利谷郷土館は、横浜市内の学校に誇れる貴重な資料館です。

代表の平野さんは、「子どもだけでなく、大人にも見てもらいたいです。また、ボランティア活動は、月に1回(午前中)ゆるやかに活動しています。保護者の方で、一緒に活動する方を募集しています。ゆっくりとお茶を飲みながら、昔の釜利谷のことなどを語り合い、一緒に活動しましょう。」と、おっしゃっていました。郷土資料館ボランティア活動にご興味をもたれた方は、副校長までお声かけください。また、土曜参観で来校された機会に郷土館見学を希望される方は、職員室にお立ち寄りいただき、副校長までお声かけください。(12:20～12:40)ぜひ釜利谷郷土館を見学し、懐かしさに浸ったり新しい発見をしたりして、ノスタルジックな気分を味わってみてはいかがでしょうか。